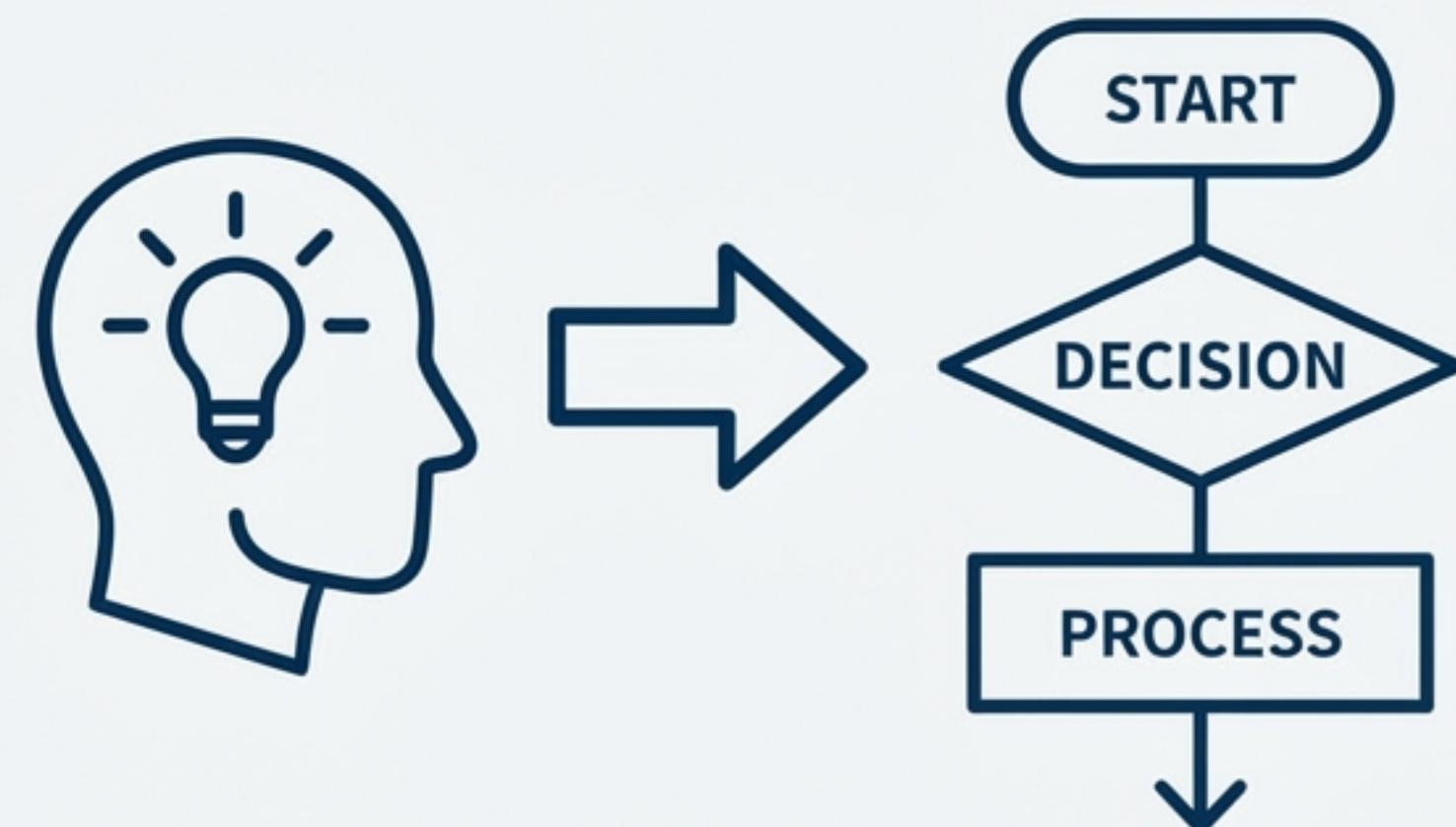


第3章 フローチャートとは

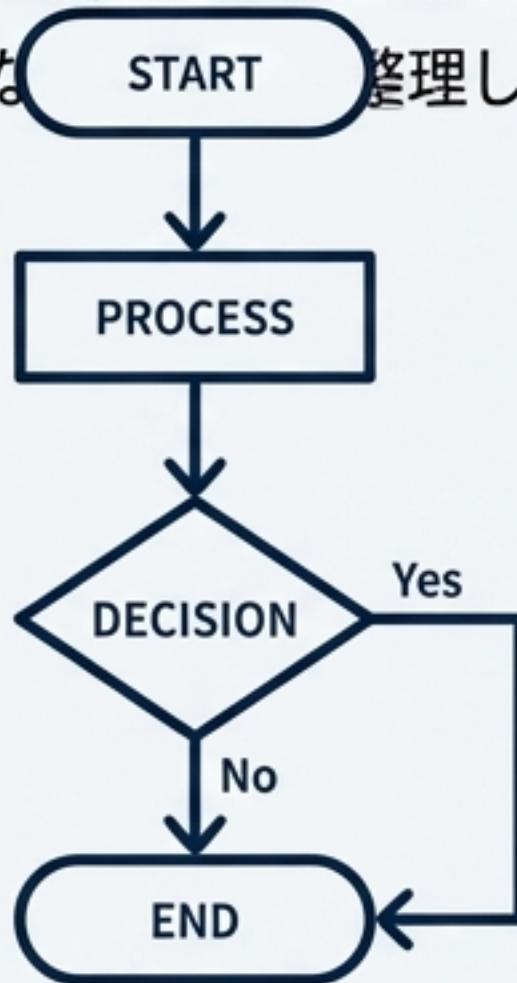
思考の設計図：アルゴリズムを「表現」する技術



3-1 フローチャートの概要

思考を「見える化」する：アイデアからロジックへの第一歩

フローチャートとは、ある問題を解決するための処理の流れを、決められた図形と線で視覚的に表現したものです。プログラムを作成する前に、頭の中のアイデアや複雑な整理し、その構造を明確にするために使用されます。



なぜ重要なか？人間の思考は曖昧さを含みますが、コンピュータへの指示は完全に明確でなければなりません。フローチャートは、その「曖昧な思考」を「厳密な手順」に変換するための最初のステップです。コーディング前のこの一手間が、手戻りやバグの少ない安定したシステム開発の土台となります。

3-2 フローチャートの目的

チーム開発の「共通言語」：品質と効率を高める3つの価値

フローチャートは、個人の思考整理だけでなく、チーム全体の生産性を向上させるための重要なツールです。



視覚的な理解

複雑な処理や条件分岐も、図で見ることで直感的に流れを把握できる。



品質の向上

ロジックの矛盾、処理の抜け漏れといった欠陥を早期に発見しやすくなる。



円滑な連携

エンジニア間のレビューや、他職種への仕様説明が正確かつ容易になる。

**なぜ重要か？

優れたソフトウェアは、優れた設計から生まれます。フローチャートは、コードの品質を担保し、チームの認識を揃えるための「共通言語」です。この言語を使いこなすことで、レビューの効率が上がり、仕様の誤解が減り、結果としてプロジェクト全体の成功確率を高めることができます。